

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会 2019年度総会 議事録  
2019年5月19日(日) 10:00~12:00 市民活動センター 会議室1

出席

八木崎、粕壁、宮川、上沖、幸松、豊野、武里西、緑、正善、備後

事務局：金田、山岸、栗原、石井、土井

進行：土井、議長：栗原、書記：金田

### 1. 事務局より「学童保育の現状と今後」

- ・地域によりまちまちな学童保育事情（立派な施設や保育料無料など・・・）。
- ・現在の学童保育は、長年の父母の運動の成果の上に成り立っている。
- ・春日部市の学童保育運営の状況（指定管理者制度、予算、児童数の推移）。
- ・父母会の役割、父母会連絡会の活動について。2018年度活動の紹介。

### 2. 総会議事

- ・2018年度活動報告、会計報告、監査報告
  - ・2019年度活動計画、予算
- 全議案について、全会一致で承認。
- ・代表について・・・慣例により、2019年度は順番で上沖クラブ

<補足>

- ・特別会計についての説明

民営時代、不測の事態に備えて基金を蓄えていたクラブから、保育の会が引き継ぎ、父母会連絡会に託された資金。

### 3. 学童まつりについて

<事務局より説明>

トライ主催での実施を打診（トライに提案）している。

指導員の参加が無ければ、祭りは成立しない。指導員がボランティアで参加する様ではダメ。そのため、トライに交渉し、トライが主催する形で指導員を業務として派遣するやり方を模索。現時点では開催の可否は未定。

<Q&A> Q：質問 A：回答 C：コメント

Q.

一応係は決めてある。

主催校はどうする？

A.

主催校（幹事校？）の割り当てはやめる。

トライが主導して実行委員会を形成（指導員）し、計画を立てる形を提案。

Q.

父母会負担が重い事から、参加したくないという意見でクラブ内がまとっている。トライの協力が無いと父母会負担は益々大きくなるので、参加は難しい。

A. (事務局)

トライの協力を得られる場合を想定して開催を考えている（協力が無ければできない）。父母会の負担は今までより軽減する事が想定されるが、具体案が出てきた時点で判断して欲しい。

Q.

いつごろまでに決まる？

A.

開催が11月という事もあり、2学期初めに実行委員会が出来れば間に合うと考えている。そのためには夏休み中くらいには開催決定が必要か。

Q.

室内のコーナー担当は良いが、模擬店は事前準備も必要で負担がある。まだクラブ内でコンセンサス取れておらず、「やらなければいけないの？」という意見が多い。

A.

模擬店はこれまでも自由参加で、やりたいクラブが参加してきた。新しい開催方法が決まった時点で、もう一度各クラブで判断して、もし開催ならできる形で参加して欲しい。

C.

元々学童まつりは、運営資金を稼ぐなどの必要に迫られた目的もあった。やがてそういった必要性は無くなり、クラブの規模や父母会の状況も変わり、みんなで考えて作り上げるものとなった。参加する内容はまちまちでも良いのでは？ ただ、子どもたちが楽しみにしている事は間違いないので、できる形でぜひ続けて欲しい。

Q.

学童まつりに参加した事が無くて何もわかっていないのですが…。

係を決めていないので、やり方が決まった時点で係を頼むのに、説明がうまくできない。

どんな負担を父母がしていくのかイメージが無いので不安。

実施できれば楽しいだろうが、そもそも苦労してまでやる意味はあるのか？

トライがやる事をきめるのか？

A.

トライが主催するとしても、結局は指導員。指導員に過去の蓄積があるので、何と何をやるのか、指導員同士で決めて進める事になる。

コーナーについては、毎年同じことをやっているクラブが多く、一から相談して「何をやるのか？」ということはない。

Q.

指導員の中でも、やりたい人とやりたくない人がいると聞くが。

A.

中には休日に出たくないという指導員もいる。ただ、祭りに向けて準備したり、歌の練習をしたり、そうした活動も保育の一環であって、日常と違う保育の彩（いろどり）の一つだと思う。まつりをするという事は、そうした日常の中に取り入れられる変化が子どもたちの生活を豊かにするものであって、それが無くなるという事自体、保育の質の低下だと思う。

C.

トライが業務としてリードしてやってくださるのなら、いいのではないかと思う。それを  
かっちり決めていただければ、秋口には子どもたちも含めての準備を始めたり、保護者が  
「お手伝い」という形で参加するのは良いと思う。  
できるだけ早く決めていただければ有難い。うちは係を決めているが。

<自由討議>

Q.

指導員の人数が足りず、市役所に行った。他に足りていないクラブは？

A.

情報公開で要求しているが、まだ入手していない。  
市は一覧表を出していないし、トライも出していない。

A.

3月末での状態で、6人必要なところ2人しかいなかった。  
どうするかトライに詰め寄ったら、事務局の方々が応援に来た。  
指導員が休みを取れない状態で、健康面が心配。  
やがてシルバーの方がどんどん増えて、やや余裕は出てきた。  
支援児の加配について、市「仕様書に書いてある事は原則」「有資格者でなくても加配認め  
る」有資格者で無くてもいいのかどうか、心配はある。  
シルバーはどんどん増えていて、夕方まで何をしたら良いのかわからずボーっとしている  
様に見える方が何人かいる。

A.

粕壁も、140人子どもがいて常勤3人。  
宮川は常勤1人。  
市やトライは、常勤で無い有資格者をカウントしている模様。  
仕様書には「常勤支援員」の配置基準が明記されているので、これは必ず守られるべき事  
項。現状は過去に類を見ないレベルの欠員状態と推定している。

以上